

令和2年度使用
豊能郡地区小学校教科用図書
選定理由書

令和元年度豊能郡地区教科用図書採択協議会

令和2年度使用豊能郡地区小学校教科用図書選定理由書

豊能郡地区教科用図書採択協議会

国語：光村図書出版株式会社 「国語」

- 「話す、聞く」、「書く」、「読む」、「言葉」に分類した目次があるので、単元の繋がりを捉えやすく、物語文や説明文では、単元冒頭に「これまでの学習」を提示し、扱ってきた「つきたい力」が継続的に取り扱われるように配慮されている。
- 表紙に「かざぐるま」、「ともだち」などの心に響くタイトルを発達段階に応じてつけたりするなど、子どもの気持ちを大切にしたい細かい配慮が感じられる。
- 1年生では、少しずつ内容を発展させていこうとする配慮がうかがえる。
- 写真や挿絵に温かさがあり、関心を持ちやすく、意欲的に取り組めるような工夫がなされている。また、視覚的に落ち着いた色彩や字の大きさが多く、見やすい。
- 「季節の言葉」、「言葉のたから箱」では思考や表現の助けとなる言葉や語彙がある。
- 「たしかめよう」でこれまでの学習を確かめ、「たいせつ」、「いかそう」で他単元や他教科、日常生活にいかせるような項目が提示されており、深い学びができる。
- それぞれの発達段階やテーマを考慮して選考された本が紹介され、生涯にわたって本を読み、生活にいかせるように配慮されていてわかりやすい。

書写：光村図書出版株式会社 「書写」

- 3年生以上では、「考えよう」、「たしかめよう」、「生かそう」の3点で、わかりやすく学習が進められるような構成となっている。
- 情報量が多すぎず、シンプルでわかりやすい。
- 「穂先の動き」について、「ほさきちゃん」というマークを用い、濃淡のある朱墨で示され視覚的にわかりやすい工夫がされている。
- キャラクターが親しみやすく、書く楽しさや達成感が感じられる工夫がされている。

- 「もっと知りたい」のコーナーでは、書写の用具が出来上がるまでの過程や文字の歴史などが取り上げられており、興味を持って書写の学習ができる工夫がされている。
- お手本が見やすい。例えば、1年生の鉛筆の持ち方を、大切に詳しく取り扱われている。
- 裏表紙には、正しい姿勢の写真を載せており、細部までこだわりがみられる。

社会 : 東京書籍株式会社 「新しい社会」

- すべての単元が「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「いかす」という構成になっており、社会科の学習の流れが非常にわかりやすく、見通しを持って学習できる内容になっている。
- 6年生の「世界の中の日本」には、日本とつながりの深い国々の生活について詳しく取り上げられている。オリンピックやパラリンピックを筆頭に、スポーツや文化による国際交流がより多く取り上げられている。
- 児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。キャラクターによるふきだしを使った問題提起や「ことば」による補足説明は児童の学習意欲を高め、より深い学びにつながる工夫がなされている。
- 写真資料が多く用いられ、具体的なイメージや状況がつかみやすく、児童の興味関心に基づいた学習活動を促す工夫がなされている。
- 「Dマーク」があるページでは、学習に役立つ情報がインターネットを通じて見ることができる。

地図 : 株式会社帝国書院 「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」

- 日本全図、日本地域図、世界全図、世界大陸別図が取り扱われており、学習に必要な資料が見やすく整理され取り上げられている。
- 世界のくらしや文化等の写真や、巻頭世界地図で世界の国々の言葉で「こんにちは」を紹介したりして、国際理解について考えたり、多様な言語にふれられる工夫がなされている。
- 視覚的に落ち着いた色彩を用いて、視覚特性に配慮している。
- 立体感のある表現を活用し、イラスト地図で土地利用の様子がよくわかる。各学年の学習内容の情報が、表や図を使って豊富に取り上げられている。
- 「地図のやくそく」の次に「広く見わたす地図」を置き、その後に「都道府

- 県地図」を置く配列となっている。それぞれの都道府県の特徴がわかり、第3・4・5学年ではその外観を捉えやすくなっている。
- 冒頭に見開き3ページを配して簡略なイラスト世界地図、裏面に日本の領域を配当し、日本全体へのイメージを広げようとしている。
 - 食べ物、動物、人物など、児童の興味関心に対応するアイコンが設けられており、多様な問題解決的な学習に活用しやすい配慮がなされている。

算数：株式会社新興出版社啓林館 「わくわく 算数」

- 「課題設定」、「自力解決」、「話し合い活動」、「ふり返り」という学習の流れが、わかりやすく構成されている。
- 「ひろがる算数」では、職業と算数のつながりが示してあり、算数で学んだことが今後どのような場面で活かされるのか理解できるようになっている。また、算数への学びの意欲を向上させるものになっている。
- 全学年の教科書で、体験を通して学ぶ活動が多く取り扱われている。
- 絵や図が大きく、見やすいように工夫されている。また、所々に余白スペースがあるため、文字や資料が見やすくなっている。
- デジタルコンテンツを活用できる箇所が非常に多い。
- 新しいことを学んでいくために「じゅんび」を設定し、日常の事象や既習事項から学習を始められるような構成になっているとともに、問題解決を通して理解が深まっていくように工夫されている。

理科：株式会社新興出版社啓林館 「わくわく理科」

- 生活の中で見つけることのできる自然の不思議が単元のはじめに取り上げられており、主体的に問題解決しようとする態度を育てられる。「①見つける」→「②調べる」→「③ふり返る」の学習過程で、問題解決の能力が高まる。
- 6年生の教科書の資料で「月の満ち欠けモデル」が、非常にわかりやすく活動的に学習できる。
- 5年生の「植物の発芽と成長」で次の実験に備えて準備することや手順が丁寧に記されており、迷うことなく実験をすることができる。
- 児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されており、重要語句には太字に、単元末の「まとめノート」のページで取り上げられていて理解しやすい。

- また、「活用しよう」では、学習したことをさらに深めて考えることができる。さらに、巻末の付録を用いて、プログラミング的思考についての学習を設定している。QRコードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるなど、より発展的な学習ができる。

生活：東京書籍株式会社

「新しい生活」

- A4サイズの大判で草花の写真や挿絵も実物大で掲載されており、子どもの意欲を喚起するような紙面となっている。
- 上巻巻頭の「がっこうせいかつ すたあと」では「スタートカリキュラム」について保護者向けのわかりやすい説明文を掲載し、児童が入学当初の生活にスムーズに適応し、保護者の協力を得ることができるよう工夫されている。
- 「主体的・対話的で深い学び」については、単元を通して、その姿を挿し絵として掲載しており、下巻では、対話を通して実現するその過程を示した「学びを深める」コーナーが設けられている。
- 挿し絵やイラストは全体的に淡い色調とし、写真は鮮明でわかりやすく紙面のユニバーサルデザインにも配慮されている。
- 巻末にある「かつどう べんりてちょう」や取り外せる「ほんとうのおおきさ ポケットずかん」は資料が豊富で見やすくわかりやすい。これによって、学びの質を高めることにつながり、学習活動を具体的に可視化している。
- WEB上の「Dマーク」コンテンツが充実しており、保護者と一緒に閲覧することで学びの共有及びメディアリテラシーの習得にもつながる。

音楽：株式会社教育芸術社 「小学生の音楽」

- 全学年、巻頭に見開きで1年間の見通しを持てるよう「学びの地図」として、学習内容が示されているところがわかりやすい。
- 共通教材が「こころのうた」として目次の初めにまとめられていることで、わかりやすい。
- 「鑑賞」において、楽器の大きさや聴くポイントがわかりやすい言葉で書かれている。
- 表現する一連の過程において、絵譜やリズム譜など、児童の発達段階に応じた工夫がなされ、よりわかりやすい。
- 「音楽を形作っている要素」が、題材の初めのページにねらいとともに示さ

れている。

- 1ページの情報量が適切である。
- 音楽と社会的事象を関連づけるコラム（震災、オリンピックなど）や、作詞・作曲家、演奏者についてのページが盛り込まれている。

図画工作：日本文教出版株式会社「図画工作」

- すべての題材に教科の目標に基づく学習のめあてを設け資質・能力の三つの柱の育成が実現できるよう工夫されている。
- 諸外国の児童作品や、作家の作品、建築物などを取り上げ、それぞれの国による表現方法や、風土の違い、共通点を理解し学ぶ中で国際理解の大切さや、平和の発展に寄与する態度が身につくよう工夫されている。
- 5・6年下の教科書では、平和をつなげる形で、「ゲルニカ」の作品を取り上げており、社会科の学習と関連し、第二次世界大戦のことについて、学ぶことができる。また、国語科でも、名画を鑑賞し、感じたことを言葉にする取り組みがなされており、教科横断的に、主体的で対話的な授業を行うことが期待できる。
- 造形的な視点についての理解や、創造的につくったり表したりすることについては、題材系等統表を見ても、各学年の発達段階に応じて、系統的にカリキュラムが組まれている。
- 工夫されている表現および鑑賞の相互の関連については、アートカードや、A4サイズの鑑賞見本があり、鑑賞教育の充実が期待できる。
- 用具の使い方についての説明が、非常に丁寧に作られている、視覚的にも理解しやすく、用具の使い方の紹介の仕方についても、各学年の系統性がよく考慮されており学年に応じて適切に書かれている。

家庭：開隆堂出版株式会社「小学校 わたしたちの家庭科」

- 各題材とも「見つける・気づく」、「わかる・できる」、「生かす・深める」から構成されており、一連の学習過程の中で課題を解決する力を養う。
- 掲載されている写真等では、男女が偏ることなく扱われているように感じられ、男女平等の視点で配慮されている。
- 身近な題材が取り扱われており、写真等の資料からも興味が引き出されるようになっている。

- 見開きで実習の流れが確認できるように示させるなど見通しを持って学習に取り組める。
- フォトランゲージという工夫がされていて、絵から導入し、気づきや疑問を交流し、内容に興味を持てるようになっている。対話的な学習場面の設定が多い。
- チャレンジコーナーやレッツトライなど児童が考えたり、挑戦したりできるような工夫がある。

保健：東京書籍株式会社 「新しい保健」

- 製本が、A4サイズになっており、読みやすく、書き込みの活動がしやすい。また、軽量で丈夫な用紙が採用されているため、ワークシート的に活用できる。
- 各項の学習活動が「ステップ1」～「ステップ4」から構成され、スモールステップでの指導が行えるようになっている。
- 児童が考えたことや学習のまとめを記入する欄が多く設けられ、思考力・判断力・表現力を育む学習活動が豊富に掲載されている。
- 自己評価を記入したりする欄が多く設けられ、評価を行う際の手がかりとすることができるように工夫されている。
- 「つなげよう」で他学年・他教科との関連が示され、系統的・教科横断的な指導ができるよう配列されている。
- 基本的に1項目を1単位時間4ページで構成され、児童が見通しを持って学習しやすいように配慮されている。
- 単元末の「学習をふり返ろう」で復習ができるように構成され、児童の理解の定着が図られている。
- 文章量が妥当で要点がつかみやすくなっており、様々な児童にとって学習しやすい内容となっている。

道徳：日本文教出版株式会社 「小学道徳 生きる力」

- 各学年とも「本冊」と「道徳ノート」の2冊で構成され「本冊」では教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されていると共に、「道徳ノート」は教材ごとに構成され、重点的に考えるべきことが示されているだけでなく、自分の考えを自由に書く欄が設けられている。「本冊」に「道徳ノート」を収納

- できるため、児童自身で管理ができる。
- 「道徳ノート」があることで1年間の学びを蓄積することができ、自分で振り返った時に自分の成長を感じることができる。また教師側としても評価がしやすくなっている。
 - 本文の割り付けにこだわりがあり、全教材が見開きで構成され、とても見やすい。
 - 教材に使われている写真やイラストがとても良い。様々なタッチで描かれた挿絵と、必要なところで配置される写真により児童の学習意欲が高まる。
 - 全学年でいじめについて重点的に取り扱われている。各学年で年間3回「いじめ防止」ユニットが組まれており、いじめを「しない、させない、見過ごさない」心が育まれるように直接的・間接的に扱うことができるように特に配慮されている。
 - 児童が興味をもって学習に取り組めるような教材の配置となっており、6年間を通して出会わせて考えさせたい内容である。

英語：光村図書株式会社 「Here We Go！」

- 各 Unit の Goal にむけて Hop⇒Step⇒Jump と学習の流れを明確に示し、学習の見通しをもって取り組むことができる。全単元のチャンツ等の活動で繰り返し練習し、基礎的な技能が身につく内容となっている。「Response」では、相手意識が育つように「You can do it」は、学習した表現を活用して、主体的に活動できる内容となっている。
- 世界12か国で生活する小学生のメッセージを紹介し、多様な文化や価値観に触れられる。グループで力を合わせて考える、協働学習が用意されている。ストーリーを通してキャラクターが違いを認め合う設定になっている。
- 日常生活における会話表現が強く意識されており、難易度という点で他社と大きな差異は見られないが、使用頻度の高い表現が多く取り扱われている。
- Unitにある Let's Try や You can do it!の活動では、グループ内でやり取りをしたり、グループで発表したりする活動がある。一人では難しいことでも、助け合うことで英語での表現することの自信が培われる。異文化理解を促す World Tour では話し合う活動があり、多様な意見を大切にする経験ができる。
- Fun Time の文字遊びをゲーム的に楽しみながら覚えることができる。英語圏の伝統的な歌や物語に触れることで、言語だけでなく幅広い知識と他国の伝統や文化を知ることができる。ペンマンシップカードやシールを活用して活動を広げることができる。

○映像を通して異文化情報にたくさん触れることができ、コミュニケーション力を重視した主体的な活動がしやすく、書く内容や量も適切である。